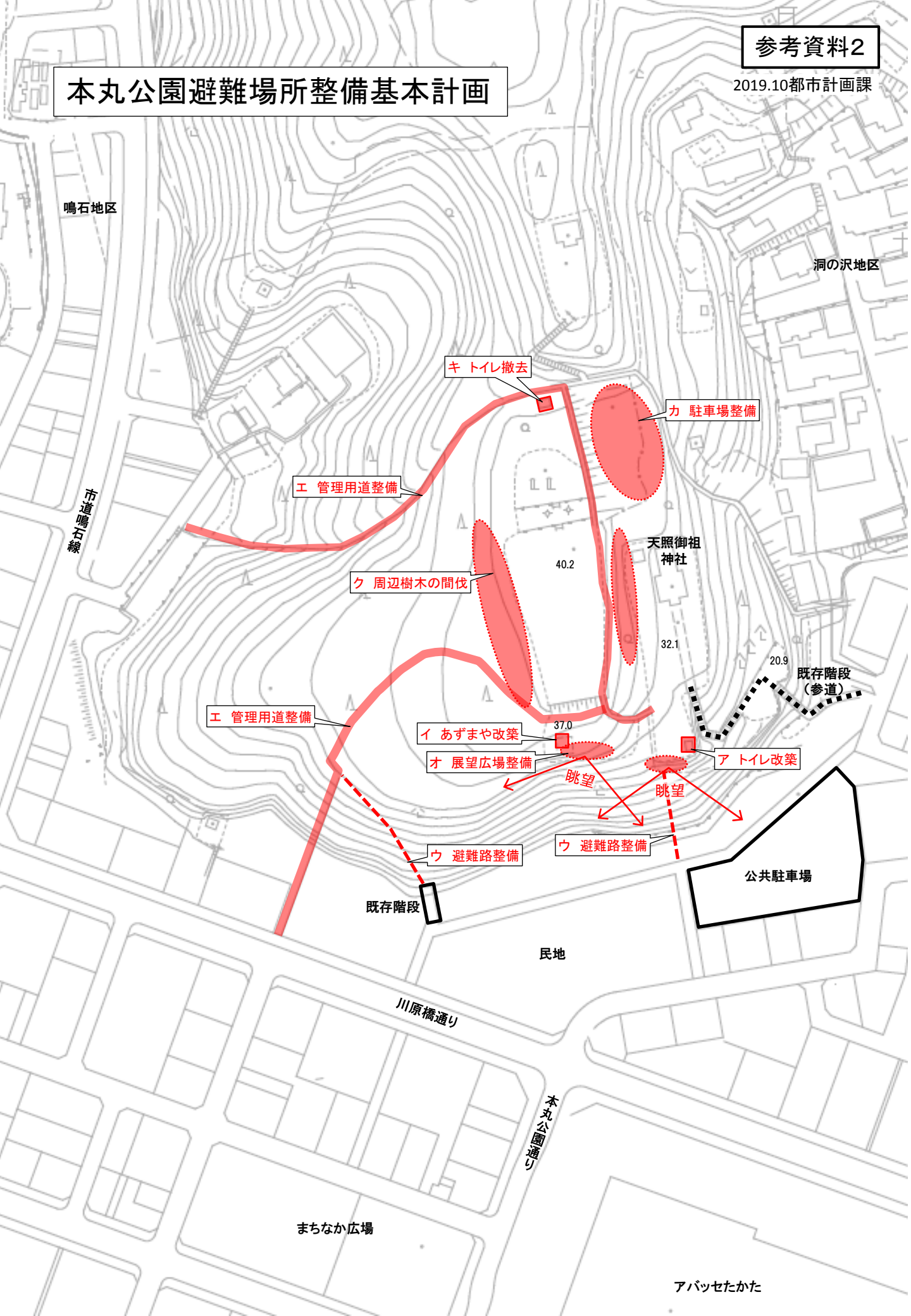
本丸公園避難場所整備基本計画

参考資料2

2019.10都市計画課



本丸公園避難場所整備基本計画

陸前高田市街地の主な土地利用

2019.10 陸前高田市都市計画課

半径1km以内に、中心市街地、復興祈念公園、運動公園、今泉地区、ワタミオーガニックランドが集積し、それぞれが相乗効果を生むことで、多様性を育む市街地を形成。

三陸道
陸前高田IC
コミュニティホール
市役所
幹部交番
消防防災センター
県立高田病院
高田小学校
高田第一中学校
新市役所
本丸公園
川原川
中心市街地
夢アリーナたかた
高田高校
ワタミオーガニックランド
運動公園
高田沖農地（田）
古川沼
今泉地区
気仙川
国道45号
高田松原津波復興祈念公園
（国営追悼・祈念施設、道の駅高田松原、東日本大震災津波伝承館）
広田湾
奇跡の一本松
気仙小学校

■中心市街地

壊滅的な被害を受けながらも、まちの文化を未来へつないでいくために再生した中心市街地。図書館、市民文化会館、博物館等の公共施設や、大型商業施設や個店を集約。公共交通の結節点とするとともに、公共駐車場を配置し、アクセス利便性を確保している。

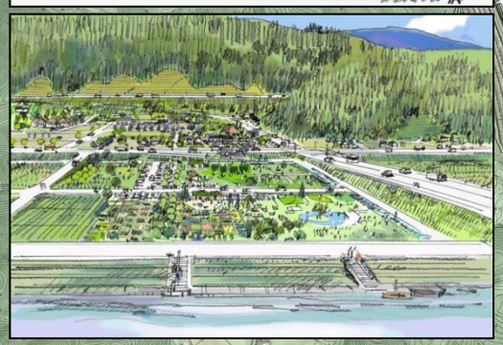
■ワタミオーガニックランド

ワタミ(株)が手掛ける日本初のオーガニックテーマパーク。循環型エネルギーや、有機農業により、命のつながりを体感する施設。面積約23ha。年間来場者数約50万人を見込む。2021年3月から開業予定。

N
0 100 200 500m
0 100 200 250m

藩政時代に気仙地方の郡政の中心地として栄えた地域。大肝入屋敷や街道の復元など、歴史・文化をいかしたまちづくりを進める。「発酵」をテーマにした民間事業者によるプロジェクトが進行中。

■今泉地区



東日本大震災をふまえ、命の尊さを後世に伝えるために、国、県、市で整備した祈念公園。中心部には、国営追悼・祈念施設、東日本大震災津波伝承館、道の駅高田松原が整備され、年間約75万人の来場を見込む。

■高田松原津波復興祈念公園

被災した運動公園を復旧整備。野球場、サッカー場をそれぞれ2面ずつ、広いグラウンドゴルフ場等を備え、北東北のスポーツ拠点となる。整備には川崎フロンターレ、東北楽天イーグルス、アディダス等が協力。

■運動公園

本丸公園避難場所整備基本計画

中心市街地のまちづくりの考え方

2019.10 陸前高田市都市計画課

【中心市街地のまちづくりの考え方】

「高田の文化を後世に伝えるコンパクトなまちづくり」

①半径300mのエリアに、人が集まる公共施設や公園を集約して配置。
②JR新陸前高田駅を中心とした公共交通の集中、駐車場の適切な配置。
③商業の拠点となる大型商業施設や個店等の集積。
④ユニバーサルデザインのまちづくり。
⑤道路・公園等のデザインによる回遊ネットワーク。
⑥復興祈念公園やワタミオーガニックランドとの連携。

本丸公園
市庁舎
公共駐車場
眺望
誘客施設
回遊ネットワーク
アバッセ
図書館
市民文化会館
にぎわい軸（本丸公園通り）
公共軸（駅前通り）
避難軸（シンボルロード）
川原川公園
館の沖公園
（イベント広場）
生活軸（高田南幹線）
博物館
まちづくり情報館
JR駅
追悼施設
交通
広場
ホテル用地
運動公園
復興祈念公園
ワタミオーガニックランド
復興祈念公園

この検討図は平成29年9月時点のものであり、今後変更される場合があります。
※境界部分の標示方法、及び「普通自転車歩道通行可」の標識・路面標示については、警察協議等により決定することとする。